

みなみしまばらし 議会だより

NO.78
令和7年
10月31日発行



「夕映えの岩戸山」 撮影：林田拓郎

| CONTENTS |

- 令和6年度一般会計・特別会計・企業会計決算 P 2 ～ P 3
- 令和7年度一般会計・特別会計・企業会計補正予算 P 4
- 一般質問 P 5 ～ P12
- 委員会活動 P13～ P17
- その他 P18～ P20

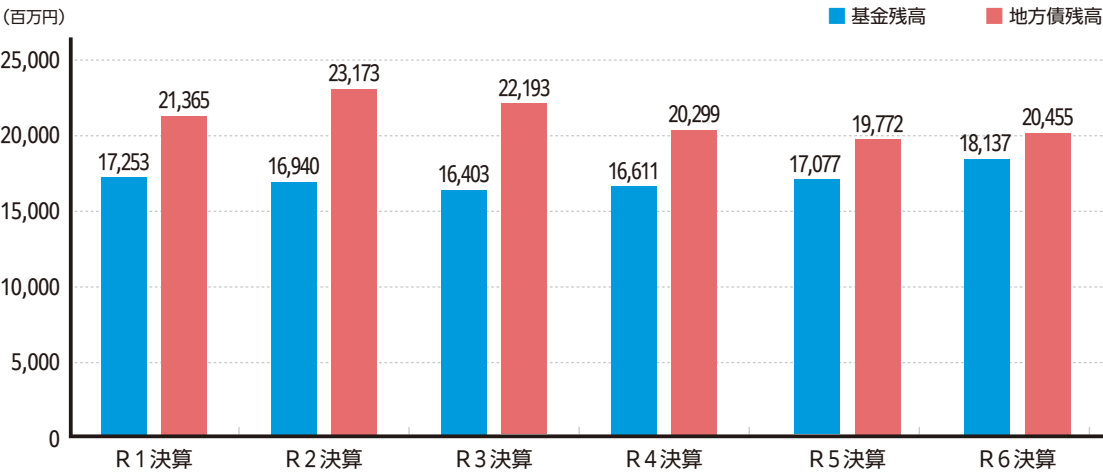
将来にわたる財政負担

区 分	令和 6 年度末
市 債 現 在 高	204億5,459万1千円
債 務 負 担 行 為	6億6,627万4千円
人口一人当たりの市債現在高	50万3,312円

積立金の状況

基金名	令和 6 年度末
財 政 調 整 基 金	41億6,942万3千円
減 債 基 金	28億5,076万3千円
特 定 目 的 基 金	111億1,663万9千円
合 計	181億3,682万5千円

南島原市の地方債残高と基金残高の推移 (R1～)



R6 令和6年度 特別会計・企業会計歳入歳出決算

01 国民健康保険事業

歳入総額	76億 189万5千円
歳出総額	75億 504万1千円
実質収支額	9,685万4千円

区 分	令和 6 年度末	前年度比
総 世 帯 数	18,324世帯	▲42世帯
総 人 口	40,257人	▲929人
国 保 世 帯 数	7,389世帯	▲319世帯
加 入 世 帯 率	40.3%	▲1.7%
国 保 人 口 合 計	12,816人	▲787人
国 保 加 入 率	31.8%	▲1.2%

02 後期高齢者医療事業

歳入総額	8億3,098万8千円
歳出総額	8億2,637万7千円
実質収支額	461万1千円

区 分	令和 6 年度末	前年度比
総 世 帯 数	18,324世帯	▲42世帯
総 人 口	40,257人	▲929人
被 保 険 者 人 口	9,754人	117人
加 入 率	24.2%	0.8%増

03 水道事業会計

総 収 益	12億 147万4千円
総 費 用	10億7,507万5千円
純 利 益	1億2,639万9千円

給 水 人 口	給 水 件 数	年 間 総 配 水 量
37,219人	16,941件	5,109,238㎡

04 下水道事業会計

総 収 益	6億1,284万1千円
総 費 用	5億3,731万3千円
純 利 益	7,552万8千円

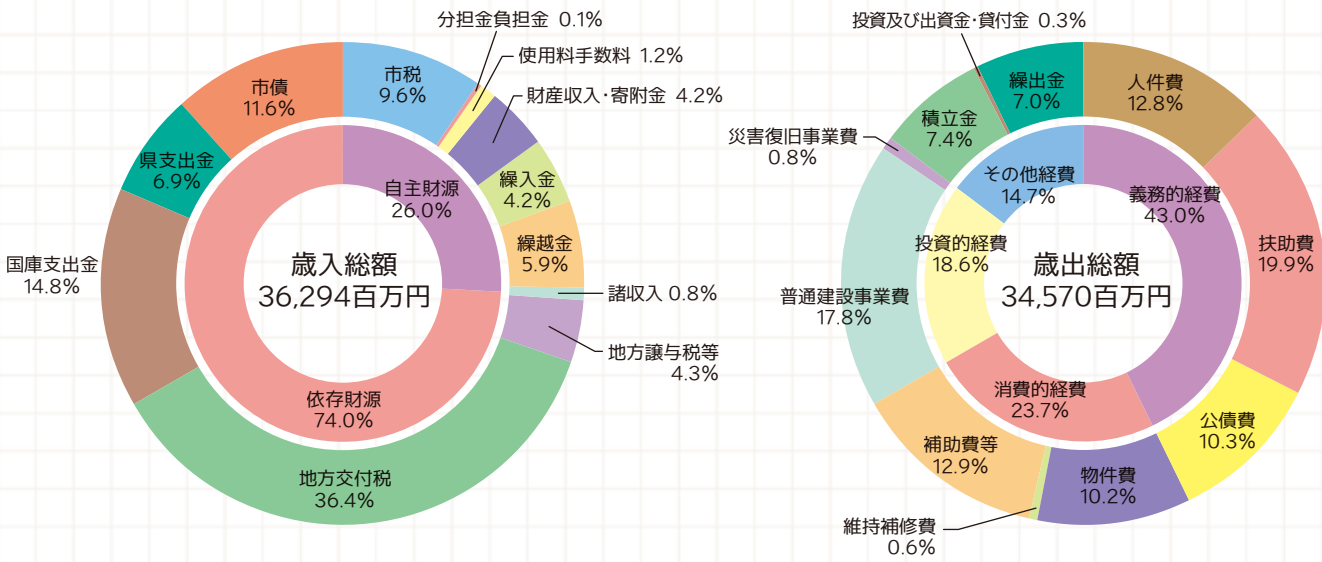
水 洗 化 人 口	水 洗 化 世 帯 数	年 間 処 理 水 量
4,061人	1,985件	505,095㎡

R6 令和6年度 一般会計歳入歳出決算

認定

歳 入 総 額：362億9,443万3千円(前年度比 0.3%増)
歳 出 総 額：345億7,071万3千円(前年度比 1.5%増)
歳入歳出差引額：17億2,372万円(前年度比 19.1%減)
実 質 収 支 費：13億7,377万円(前年度比 27.7%減)

9月定例会(9月2日開会～9月30日閉会)において、9月16日、17日、18日の3日間、決算審査特別委員会を開催し令和6年度一般会計決算について審議を行いました。



〈歳入の内訳〉

区 分	令和 6 年度決算額	前年度比%
市 税	34億9,764万0千円	▲5.2
分 担 金 負 担 金	5,186万1千円	0.0
使 用 料 手 数 料	4億4,202万6千円	▲4.1
財 産 収 入 ・ 寄 附 金	15億3,057万5千円	33
繰 入 金	15億1,308万5千円	▲26.7
繰 越 金	21億2,952万9千円	3.1
諸 収 入	2億8,463万3千円	▲4.8
地 方 譲 与 税 等	15億5,627万5千円	11.7
地 方 交 付 税	132億2,419万5千円	2.0
国 庫 支 出 金	53億5,574万6千円	▲7.0
県 支 出 金	25億1,486万8千円	▲23.4
市 債	41億9,400万 0 千円	39.7
合 計	362億9,443万3千円	0.3

〈歳出の内訳〉

区 分	令和 6 年度決算額	前年度比%
人 件 費	44億3,743万5千円	4.0
扶 助 費	68億6,225万4千円	10.3
公 債 費	35億6,208万8千円	▲0.2
物 件 費	35億1,868万9千円	▲2.4
維 持 補 修 費	2億2,166万1千円	▲21.6
補 助 費 等	44億4,663万3千円	▲15.4
普 通 建 設 事 業 費	61億6,554万8千円	14.4
災 害 復 旧 事 業 費	2億7,095万2千円	▲32.5
積 立 金	25億7,252万7千円	1.6
投 資 及 び 出 資 金、 貸 付 金	1億1,300万0千円	2.7
繰 出 金	23億9,992万6千円	▲0.9
合 計	345億7,071万3千円	1.5



一般質問

第3回定例会では、15人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。

議会を動画で見よう！

◆インターネットで録画配信している本会議全体の様子をご覧になれます。

南島原市議会 中継



議員

点滅信号撤去後、

総務部長 1灯式点滅信号機が製造中止になっていること、不慣れたドライバが逆に点滅式のほうがよく分からず、事故を起こす可能性があるというので、警察としては、代わりに横断歩道あり、一時停止等の安全施設をつけて管理している。

広域農道について

議員 グリーンロード西有家線慈恩寺付近交差点

への点滅信号機の再設置を、地元、地域住民は強く要望しているが。

総務部長

号機が製造中止になっていること、不慣れたドライバが逆に点滅式のほうがよく分からず、事故を起こす可能性があるというので、警察としては、代わりに横断歩道あり、一時停止等の安全施設をつけて管理している。



松本 添花 議員

中学生の登下校でも
スクールバスを利用
できないか

教育長 積極的に検討を進めていく。

議員 部活動がクラブ化へと進んでいる中、大会等への移動手段としてスクールバスを利用できないか。

教育長 現段階では前向きな回答とはいえないが、今後、先進地の視察を行

スクールバスについて

議員 部活動がクラブ化へと進んでいる中、大会等への移動手段としてスクールバスを利用できないか。

教育長 現段階では前向きな回答とはいえないが、今後、先進地の視察を行

実施していく。

議員 繁茂した草木の対応について、今後の維持管理強化への考えは。

農林水産部長 草刈り作業員による除草や、業者による高木や枝葉の除去に加え、管理上の負担軽減を図るため、のり面への張りコンクリートや防草シートなどによる対策を実施していく。

農林水産部長 草刈り作業員による除草や、業者による高木や枝葉の除去に加え、管理上の負担軽減を図るため、のり面への張りコンクリートや防草シートなどによる対策を実施していく。

農林水産部長

路面標示については、地域住民の要望に伴い、警察と協議を行い、設置することは可能であると考

えている。

4件の事故が発生しているが、市としてもっと安全対策をしてほしい。カラー舗装することによって安全対策の強化へとつながると考えるが。

農林水産部長 交差点内の路面標示については、地域住民の要望に伴い、警察と協議を行い、設置することは可能であると考

えている。

議員 繁茂した草木の対応について、今後の維持管理強化への考えは。

農林水産部長 草刈り作業員による除草や、業者による高木や枝葉の除去に加え、管理上の負担軽減を図るため、のり面への張りコンクリートや防草シートなどによる対策を実施していく。

農林水産部長

路面標示については、地域住民の要望に伴い、警察と協議を行い、設置することは可能であると考

えている。

4件の事故が発生しているが、市としてもっと安全対策をしてほしい。カラー舗装することによって安全対策の強化へとつながると考えるが。

農林水産部長 交差点内の路面標示については、地域住民の要望に伴い、警察と協議を行い、設置することは可能であると考



(グリーンロード)
西有家線慈恩寺付近交差点

来年度は、深江地区で防災訓練を実施したい。

総務部長 今年度の訓練の実施は難しい。代わりに、自主防災リーダー研修の開催、年明けに防災意識向上プロジェクトとして、防災に知見を有する方をお招きし、講演をしていただくよう計画している。

議員 今年度の予定は。

総務部長

防災訓練について

議員 今年度の予定は。

総務部長 今年度の訓練の実施は難しい。代わりに、自主防災リーダー研修の開催、年明けに防災意識向上プロジェクトとして、防災に知見を有する方をお招きし、講演をしていただくよう計画している。

議員 今年度の予定は。

総務部長

島原半島における産婦人科医療体制について

議員 妊産婦リスクへの対応として専門医療機関を紹介された場合の支援は。

市長 現在、支援は行っていないが、新たな制度を来年度の実施に向けて検討を行っている。

議員 妊産婦リスクへの対応として専門医療機関を紹介された場合の支援は。

市長 現在、支援は行っていないが、新たな制度を来年度の実施に向けて検討を行っている。

議員 妊産婦リスクへの対応として専門医療機関を紹介された場合の支援は。

市長 現在、支援は行っていないが、新たな制度を来年度の実施に向けて検討を行っている。

議員 妊産婦リスクへの対応として専門医療機関を紹介された場合の支援は。

いながら検討させていた
だきたい。



質問の様子を
動画で見よう

R7

令和7年度 一般会計補正予算 (第4号)

補正額 12億5,452万7千円 増額

自転車歩行者専用道路整備事業に要する経費 1億4,840万円

・有馬川の下部工の安全性について、会計検査院からの指摘があり詳細設計及び工事中止に伴う経費。

市道維持管理事業に要する経費 4,840万円

・市道の維持・修繕箇所が多く、予算が不足する見込みのため。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業に要する経費 3,346万2千円

・学校給食会原油価格・物価高騰対策費補助金 3,261万2千円
(物価高騰に伴う子育て世帯への支援のため)

・土地改良区運営費補助金 85万円
(土地改良区の電気料金高騰分の一部を支援する)

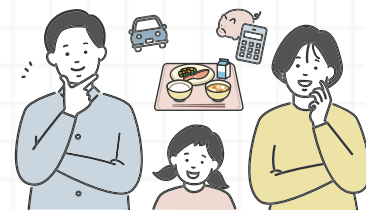
農地等災害復旧事業に要する経費 1億1千万円

・令和7年度梅雨前線豪雨により被災した農地及び農業用施設の早期復旧を図るため。

地方債の繰上償還に要する経費 9億9,824万円

・後年度の負担軽減のため、金融機関から借り入れた地方債を繰上償還する。

可決



R7

令和7年度 一般会計補正予算 (第5号)

補正額 2億7,142万7千円 増額

令和7年9月豪雨により被災した農地及び農林水産施設、並びに公共土木施設に係る災害復旧事業に要する設計委託等の経費

・農地等災害復旧事業 1億2,160万円 ・公共土木施設災害復旧事業 1億4,982万7千円

可決

R7

令和7年度 南島原市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

補正額 515万9千円 増額

島原地域広域市町村圏組合の電算システム改修に伴う負担金 482万9千円

過年度の資格喪失により保険税の還付金が発生したため 33万円

可決

R7

令和7年度 南島原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額 556万3千円 増額

島原地域広域市町村圏組合の電算システム改修に伴う負担金 95万2千円

後期高齢者医療広域連合保険料負担金 461万1千円

可決

R7

令和7年度 南島原市水道事業会計補正予算(第1号)

補正額 211万3千円 増額

長崎県施工の西有家町須川河川改修工事に伴う天神橋添架配水管仮設工事に要する経費

可決

市は学校の統廃合問題についてどう考えているのか

教育長 今年5月に立ち上げ、検討を進めているところである。



中村 哲康 議員

人口減少対策について

議員 市の職員数は現在何人なのか。

総務部長 令和7年4月1日時点で425人である。

議員 適正な人数はどのくらいなのか。

総務部長 第2次定員適正化計画を作成しており、計画では440名、実際は425名である。この人数で頑張っていかなければいけないと思うっており、今が適正の人数だと考えている。

農業・漁業振興について

議員 ワカメの生産を行っている漁業従事者の方から、ワカメの種の食害を受けているという相談を受けたが、市はこのような被害があることを把握されているのか。

農林水産部長 ワカメの被害については、クロダイやアイゴによる食害が起きている。食害の把握としては、漁協及び漁業関係者から食害の報告があり、県南水産業普及指導センターが水中カメラを設置したところ、クロダイによる食害を把握したところである。

議員 クロダイということだが、地元漁業者からはカモメや水鳥がワカメの種を食べていると聞くが、こちらに被害報告は来ているのか。

農林水産部長 漁協及び漁業関係者の話では、鳥類による食害があると聞くが、ワカメを鳥が食べているかどうかの確認は取れていない状況である。

議員 イノシシを駆除されていると思うが、実際減少しているのか。

農林水産部長 令和5年度から3倍ほど被害額が上がっており、捕獲頭数も前年から800頭ほど増えているので、生息数の減少には至っていないと予想している。

リレーセンターの移行について

議員 南部リレーセンターの移行について、市民や事業者へ周知はどのように行っているのか。

環境水道部長 今後広報紙やホームページを通じて周知を図っていく。



南部リレーセンター完成予想図



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

違いだと思う。私はこれまで早く刑事事件として捜査を行うべきのことを言い続けてきた。市民の皆さんも徹底した真相解明を望んでおられる。

エバーグリーンは下請け業者にに対し振り込んだ6千万円(補助金)の返還訴訟中であつたが、5月26日に、6千万円の支払い命令の判決が出されたが、市の対応は。

地域振興部長 確実に補助金が返還される見込みがあれば仮差し押さえも考えているが、基本的にはエバーグリーンが行うことなので、様子を見ながら判断する。

議員 現在支払いはなされていない。百条委員会での証言などから判断すると、差し押さえるものはないと思っている。



次の冬シーズンから、経鼻インフルエンザワクチンは、助成対象となるか

市長 今回新たに助成対象とした。



寺澤 佳洋 議員

季節性インフルエンザウイルスワクチン(経鼻スプレーワクチン)について

議員 新たに助成対象となるが自己負担額は。

福祉保健部長 年間1人1回であり、3千円となる。なお、皮下注射の場合は1回あたり1,500円となる。

議員 助成対象は。福祉保健部長 2歳から就学前の幼児が対象となっている。

半島振興法関連「医療・看護・介護・福祉」について

議員 今後の市としての対応は。

福祉保健部長 1つ目が、高齢者や交通弱者を対象とした医療アクセス支援、2つ目が、医療従事者の確保と育成を目的とした施策の推進、3つ目が、医療Maasや遠隔医療の導入に向けた検討などの対策であり、どのように具体化するかが課題である。

議員 看護師、薬剤師、歯科衛生士などコメディカル人材確保に向けて、『南島原市の医療、看護、介護、福祉を支えたい』という思いを持っている方々を大切にした施策をつくり上げてほしいがいかがか。

市長 私も市長としてそういう制度をつくるならば、やっぱり願うところであるので、これから検討していきたいと思う。

議員 医療Maasに関して具体的な方針はあるか。

福祉保健部長 今年度の南島原市DX推進アクションプランに盛り込み、検

島原半島西回り道路(雲仙市～南島原市間)について

市長 道路実現を求めて引き続き要望していきたい。



林田 久富 議員

道路について

議員 令和7年度長崎県の施策に関する要望・提案書の構想路線「島原半島西回り道路」の調査検討の知事の回答は。

市長 知事からは、国、県、半島3市で組織する島原半島地域幹線道路網に関する検討会で検討を進めており、今年6月に開催された会議において、島原半島を一周する循環型道路ネットワークを島原半島地域の将来を目指す全体像として位置づけられたと考えている。今後

後国や関係市と検討を

討に着手をしたところである。

半島振興法関連「教育」について

議員 半島振興法に、区域以外の子供に対する半島地域の特性を生かした教育の提供として、現在整備中の原城跡世界遺産センターを生かすのはどうか。

教育次長 世界文化遺産、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産のストーリーの出発点という特性を生かして、長崎を訪れた際には、まず原城跡に立ち寄ろうと思っていただけのような教育のプログラムを構築していく必要があると考えており検討を進めることとしている。



南島原市医療提供体制確保事業(南島原市HP)



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

のが道のほうに出てきている状況であるので、何とかこれはしなきゃいけないと、私自身は気になってはいる。

議員 除草剤散布の活用をするような方向で進めていくべきと考えるが。

建設部長・農林水産部長 除草作業の省力化等も踏まえ、使用について慎重に検討したいと考えている。

その他の質問

○農業振興について
○個別施設計画について
○島原半島は一つの考え



国道の除草剤散布作業状況

刑事告発について

地域振興部長 捜査に影響を及ぼす答弁は控える。



限部和久 議員

議員 サテライトオフィ
ス問題に関する告発状が
8月13日に受領された。
本件に関しては、捜査に
影響を及ぼす可能性があ
り、ほとんどの問いに答
えかねるということだが
、そもそも捜査自体は行
われているのか。

地域振興部長 警察によ
ると、すでに捜査を行っ
ており、これに支障をき
たさぬよう協力願いたい
ということであった。

議員 我々、議会による
百条委員会や、現在進行
中の第三者委員会は、真
相究明するには、その権

陸上自衛隊水陸機動
団の誘致についての
考えは

市長 国家防衛の観
点から国が判断する
ものと理解している。



酒井光則 議員

大雨における被害状
況について

議員 8月11日の大雨に
おける被害状況は。

市長 床下浸水2件、市
道冠水5件、市道法面・
路肩崩落7件、農地25件
農業用施設15件等の被害
があった。

議員 今回の災害は激甚
災害に指定されたが、農
地災害の場合の補助率の
増加は。

農林水産部長 農地の場合
50%が70%から90%に引
き上げられるが限度額が
設けてある。補助対象額
が限度額なので、限度額

限に限界がある。本件を
解明するには、司法によ
る微に入り細にわたる調
べが不可欠であり、これ
に影響を及ぼすことは厳
に慎むべきであることは
重々承知している。

しかし捜査には配慮し
つつも、行政に対しては
一切忖度せず、疑義があ
れば追及していく。

少子化対策について

議員 本市が現在行っ
ている対策は。

福祉保健部長 子育て支援
に関する取組として第2
子以降の保育料を無料化
し多子世帯の支援をして
いる。また、令和6年4
月に開設した「こども家
庭センター」にて、妊娠
から出産、そして子育て
に至るまで、切れ目のな
い支援体制を整備してい
る。

さらに県内初の妊産婦
医療費助成制度を導入し
、妊産婦の医療費負担軽減
の取組を行っている。ま
た24時間対応のオンライ
ン小児科・産婦人科相談

サービスを開設し、子育
て中の不安や、緊急時の
悩みに対応できる環境を
整えている。

議員 出生数が、合併時
の20年前から約6割も減
少している。国全体の傾
向ではあるが、現在行っ
ている子育て支援策に加
えて、出産の後押しに直
接寄与するため、出産祝
金の制度も検討しては
どうか。

私は、ばらまき政策に
は本来与しないが、地方
交付税の算定基準には、
人口も加味されるので、
その減少対策のためにも
提案する。



質問の様子を
動画で見よう



質問の様子を
動画で見よう

ものと定められている。

議員 防災重点ため池ハ
ザードマップについて。

農林水産部長 関係自治会
へ配布している。

世界遺産センターに
ついで

議員 進捗状況は。

教育長 おおむね順調で、
令和8年の秋から冬にか
けての供用開始を目指し
ている。

議員 約2,200万円
の補正予算が計上されて
いるが理由は。また全体
の事業費に対する影響は
ないのか。

教育次長 長崎県や県警
と協議し国道交差点や安
全施設、歩道等の関係工
事費が増額となった。なお
全体の総事業費については
特段大きな変動はない。



防災重点ため池(加津佐町)

既存医療機関への
支援は

市長 現在、考えて
いないが、医療確保
は課題。動向を注視
し、安定確保に努め
たい。



末続浩二郎 議員

農業振興について

議員 食用米の増産に向
けた取組は。

市長 高温耐性品種の推
進、省力・低コスト技術
の普及促進、スマート農
業の推進に取り組む。

農林水産部長 遊休農地化
を防ぐため増産意欲のあ
る農家への集積に努める。

議員 中山間地域の課題
への取組は。

農林水産部長 基盤整備、
農道・水路の整備、有効
活用推進事業等実施中。

議員 農業収入安定化の
取組は。

農林水産部長 収入保険料

口加高校存続のため、口之
津中・加津佐中・口加高校
を一緒にして中高一貫校を
進めるべきだ

教育長 そのような考
え方は意味のあること
と思う。



黒岩英雄 議員

口加高校存続について

議員 15年後、半島での
公立高校の維持が難しく
なると言われているが、
地理的要因、地域的事情
を考慮し口之津中、加津
佐中、口加高校を一緒に
し中高一貫校にしては。

市長 人口が減少し、将
来の出生数で危機感を感じ、
教育環境を深刻に考
えており、小中学校の在
り方検討委員会を立ち上
げ検討を進めている。

教育長 統廃合する場合
には義務教育学校（小中
一貫校）や小中高一貫教
育など様々な可能性を排
除することなく幅広く検
討していく。

議員 市内から高校がな
くなるといよいよ若者は
市外に流出し、人口減少
対策が悪循環となる。市
内には口加高校と翔南高
校という、地域に重要な
役割を果たしている2校
がある。これからの存続
は教育機関としての役割
だけでなく、地域の活性
化や市の将来にとっても

整備方針を検討したい。
特別教室は計画的な導入
を検討中。

地域医療の整備について

議員 医療の確保に向け
取組状況と今後の課題は。
福祉保健部長 4月に医療
提供体制確保事業補助金
を創設。今後制度内容の
検討が必要。

議員 半島振興法改正に
伴う僻地補助の活用は。
福祉保健部長 従来半島振
興法地域は対象外。改正
に伴う国の動向を注視し
たい。

議員 新規医療機関のほ
か既存機関への支援は。
市長 4月創設の医療提
供体制確保事業を推進。
医療体制の確保は全国的
な課題。国・県の動向を
注視し安定確保に努める。



質問の様子を
動画で見よう



質問の様子を
動画で見よう

不可欠。もし高校がなく
なると教育の選択肢が減
り、人口流出や地域コミ
ュニティの衰退につなが
る。そのため県が策定す
る大綱については、県だ
けでなく市や市民も協力
し、協議を重ね策定する
必要がある。高校の存続
のためには、中高一貫
（口之津中・加津佐中・
口加高校）教育の導入や
地域資源を活用した魅力
的なカリキュラムの構築
など、それぞれの地域に
あった取組をしていくべ
き。それにより子供たち
が地域内で質の高い教育
を受けられる環境づくり
を検討すべきと考えるが、



教育長 先ほどから口加
高校、口之津中、加津佐
中を結びつけるような話
があったが、そのような
考え方は非常に意味のあ
ることと思う。

オストメイトの方への対応について

市長 環境を整備することは、市の責務と認識している。



井上 修一 議員

オストメイトの方への対応について

議員 オストメイトの方が安心して生活できる環境について、本市の考えは。

市長 オストメイトとは、病気やけがなどのために腸や膀胱の機能を損なわれたことによって腹部に人工肛門や人工膀胱など排泄口を造設された方を示す言葉であるが、社会全体としての理解が不足している状況であります。本市ではオストメイトの方々が安心して地域の中で暮らしていけるよう、

周知に関する取組を行うとともに、相談体制や必要な福祉サービスが受けられるような支援体制を整えながら、共生社会の実現を目指していかなければならないと考えています。

議員 オストメイトの方の装具購入における経済的負担は。

福祉保健部長 現在、県内における21自治体の内、本市を含む18自治体が同額の基準額で補助している。今後、国や県の状況を踏まえ各自自治体と協議しながら、基準額の見直しについて検討していく。

議員 オストメイトが利用できるトイレが、市内8か所にあるということだが、それ以外で温水シャワーなど、十分な設備を有するトイレを世界遺産センターに設置する予定はないか。

教育次長 オストメイト対応のトイレ設置も予定している。

議員 今後の周知については。

福祉保健部長 12月の障害

議員 休日夜間当番医情報

福祉保健部長 毎月の広報紙に掲載している。

議員 緊急安心センター#7119の周知は。

福祉保健部長 昨年7月にチラシを配布し、ホームページにも案内している。今後は、広報紙に毎月掲載できればと思う。

議員 外国人対応を含む多言語相談体制は。

福祉保健部長 119番にて22か国対応可能。

議員 教育支援と若者の未来創出について

議員 保証人不要型や給付型奨学金の導入の可否は。

教育次長 保証人要件を緩和しており、保証人不要型の導入は考えていない。また、本市の奨学金制度は、他自治体に比べても遜色のないような奨学金制度のため、新たな給付型奨学金導入の予定もない。

議員 遠隔学習支援やAI教育活用との連携構想については。

当番医及び緊急相談体制の整備について

農林水産部長 選定委員会で審査し、市長へ報告する。選定できなかった場合に再募集を行う。

災害時に強い道路整備を

市長 早期事業化に向けて国・県へしっかりと要望していく。



日向 栄司 議員

原城跡世界遺産センター物産販売施設の入居者募集や運営について

議員 市長の思いや、理想企業の考えは。

市長 世界遺産センター整備の趣旨や本市の課題等を把握し、地域貢献するような事業が望ましい。

議員 地域経済発展に、募集1件のみで可能なのか、再募集の検討は。

農林水産部長 選定委員会で審査し、市長へ報告する。選定できなかった場合に再募集を行う。

者週間、これに合わせて、広報紙やホームページなどを通じてオストメイトに対する正しい知識や情報を広く周知をしながら、環境づくりに努めていく。

健康保険証について

議員 救急搬送時におけるマイナ保険証の活用は。

福祉保健部長 迅速かつ適切な処置、治療につながる。本年10月から全国で（島原広域消防本部も同様）本格運用が始まる予定。

その他の質問

○後期高齢者医療制度の2割負担配慮措置について
○投票に支援が必要な方への対応について



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

防災・災害対策の強化について

教育長 遠隔学習支援は、登校できない児童・生徒の学びを保障する上で大変有効であり、AI型教材は個別最適な学びの充実のために有効。

議員 溶岩ドーム崩落における警戒区域に関する住民避難計画は。

総務部長 本市の地域防災計画で定めている。溶岩ドームの情報収集・伝達に係る関係機関と連携し、市民へ迅速に伝達する。

議員 地震・豪雨同時災害時に強い道路の要望はされたか。

市長 災害時に機能する道路ネットワークの重要性、これは十分感じているところであり、早期事業化に向けて国・県へしっかりと要望していく。



市長・議員の選挙の日程は

選挙管理委員長 90日特例で同日で行う。令和8年6月7日告示、令和8年6月14日投票。



高木 和恵 議員

教諭によるわいせつ事件

議員 7月4日、市は和解金等335万2千円を予算計上。議会は賛成多数で可決。和解金300万円と支払日の説明を。

教育長 この額は国家賠償法に基づく市に対する損害賠償請求によって支払う。7月25日支払済。

議員 公金で支払った事は市民に説明責任があるという声がある。考えを。

教育長 特に今のところ考えていない。

議員 いーとばい事業について

議員 この事業は国の補

本市の人口減少対策はどのようになっているのか

市長 危機感を持ってあらゆる事業に取り組んでいる。



永池 充宏 議員

人口減少対策について

議員 本市の人口減少の状況をどのように捉えているのか。

総務部長 合併後約1万5,500人減少し非常にゆゆしき事態だと捉えている。本市の将来に大きく関わる重要な課題であり、今後人口減少対策を重点的に取り組む必要がある。

議員 若年層の市外流出の実態は。

市民生活部長 令和6年の15歳から29歳までの転出者は全体の50・8%を占め、高い割合となっている。

助事業。当初の予算は、ミナコイン1人5,500円。クーポン1人5千円。計約2億2千万円予算化ところが市長は勝手に二人5千円に減額し加盟店に通知。広報にも印刷済。議会には4月28日の全協で事後報告。公平にたと説明。一人5,500円にできなかった理由を。

地域振興部長 全市民を対象に5,500円では予算を組んでいない。

議員 ミナコインは、家族の人数分、一人世帯のガラケーの人も受け取る事は可能。最初の予算は全市民（4万1千人）×5,500円で算定すべきだった。今回市民に損害を与えた。不適切な事務処理、懲戒処分の対象。

サテライトオフィス問題

議員 8/12弁護士が南島原警察署に刑事告発。受理は。なぜ告訴ではないのか。

地域振興部長 受理をしたという報告は受けていない。現段階では立証が難

議員 若い人たちの市内定着に向けた取組は。

地域振興部長 島原振興局と半島3市で島原半島若者定着促進協議会をつくり、高校生を対象とした企業説明会や企業見学会などを行い、地元定着に向けた取組を行っている。

議員 人口戦略会議が昨年発表した消滅可能性自治体に南島原市も含まれたがこれの定義は。

総務部長 2020年から2050年までの30年間で、20歳から39歳の若年女性の人口減少率が50%を超えると予想される自治体のこと。

議員 原因は何なのか。

総務部長 原因としては、人口減少や若年層の流出、高齢化の進行、産業構造の変化、インフラ生活環境の格差などが言われている。

議員 女性が輝く社会の実現に向けた取組は。

市民生活部長 男女共同参画計画を策定し各局で施策を推進している。

議員 技能実習生及び特

しい。告訴できる条件が整っていない。

議員 告訴は被害者しかできない。告訴すれば事件が進む。起訴する確率が高くなる。犯罪者の刑罰も重くなるらしい。告訴が出たら絶対捜査をしなければならぬ。

副市長 副市長が思う、まずい、あり得ない、まずい判断の説明を。

副市長 概算払・委任払の2つ。あり得ないのは委任払。補助金を申請者以外の第三者に出している。これは通常行政の常識からしてあり得ない。

議員 市長はR5年1月27日、当初予算にデジタル田園都市国家構想交付金を計上。決裁時には、副市長と一緒に。

市長 副市長が同席していたかは覚えていない。

高木議員の主張

- ・市長と議員は利害関係ではない。
- ・地頭菌と山口周一、松本政博は利害関係者（ポテミルクセーキ関係）



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

定技能外国人の状況は。

農林水産部長 令和7年3月で445人。

議員 実習生等の受け入れの対策は。

農林水産部長 本年度から3年間に限り補助金を交付する。

議員 本市の人口減少のスピードを遅くするためにも独自の定住対策が必要と考えるが。

市長 人口減少は本市の将来に大きく関わる重要な問題だと認識している。今後力を合わせ全力で取り組んでいきたい。

議員 ぜひ危機感を持って総合的に効率的に人口減少対策を進めてほしい。



※「第Ⅱ期南島原市総合計画後期基本計画」より抜粋

県立高校再編に向け
た大綱が示されるが、
県教委と意見交換をするのか

市長 なるべく早い
うちにと考えている。



田中克彦 議員

市内県立高校の存続について

議員 令和7年度の市内県立高校の充足率は、口加高校51%、翔南高校33%さらに市外高校への進学率が50%超の現状を、市としてどのように受け止めているのか。

市長 人口減少が進み、

子どもの数が減ってきていることを痛感させられる数字。このような少子化は、今後の市内高校の存続にも影響し、この地域社会に大きな影響を与えると認識している。

議員 県は少子化に伴う

高等学校の今後の在り方や考え方を示す再編の大綱を来年度に打ち出す予定としている。このままではどちらかの高校が閉校になる可能性が高いと考える。市としては2校存続を目指すのか、あるいはどちらか1校を残すのか、その方向性を明言できるのか。

市長 当然、市内に高校が存続して欲しいという思いはある。市として様々な面で協力しながら、存続できる方法を探していきたい。県立高校の課題でもあることから、現時点で方向性を明言することは難しい。

議員 県教委は、「県立高校の設置者は県であるが、再編に当たっては地元の小中学生が進学する学校であるので、市の意見を伺いたい。市の今後のまちづくりのビジョンや地域の特性なども踏まえた再編が望ましいと考えているので、小学校から高校までを含めてどんな子どもを育てようとして

いるのか、また高校において、どのような学びを求めているのかなど、率直な意見交換をしたいと考えている。いつまでに意見交換をしようと考えているのか。

市長 なるべく早いうちに県との意見交換をしなければと思っている。

議員 高校は単なる学舎ではなく、地域の将来を担う若者を育て、まちの人口や経済にも影響を与える存在である。南島原市として、地域の未来に必要な高校をどう残すのかという積極的な姿勢を県に示すべきだと私は考えている。

その他の質問

○口之津第一小学校跡地について



口加高校



翔南高校



質問の様子を動画で見よう

田中次廣委員長

決算審査特別委員長報告(概要)

〔認定第1号〕令和6年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について〕を認定

〔認定第1号〕令和6年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について

〈総務部関係〉

質疑 DX推進リーダー研修会の内容と、総合型シテップロモーション推進事業で、動画の制作とテレビ番組の誘致の費用は。

答弁 DX推進リーダーの研修は、6年度は各部署から14名の職員を推薦してもらい、6月から2月までの間に12回程度の研修を行った。DXのメインの内容から、効率化ツールを实际使いこなすような研修を実施した。シテップロモーションの制作費は、俳優の水川あさみさんを活用した動画が約990万円、テレビの全国放送、じゅん散歩関係が370万円、九州・山口管内の放送の15分番組、長崎県内の番組

で情報番組60分、それと20分番組、そのほか3分番組で、情報番組全体で265万円程度になっている。

〈地域振興部〉

質疑 サテライトオフィスの返還金9千万円は未収金で処理をするのではないのか。入ってくるまではこのような処理を行い毎年計上するののか。

答弁 毎年入ってくるまで計上する。

質疑 市単独の移住促進事業補助金は、条件として自治会加入が原則と思うが、何人が該当し、自治会に加入したのか。それと、MINAコインが始まって何年になるのか。銀行で換金する人数と金額は。また南島原市のポイント分のこれまでの総額は。

答弁 子育て世帯等の移住促進事業補助金がある。

松本市政について
(市長選に出馬されるのか)

市長 本市の課題解決に向けて全力で取り組むことが責務。



松永忠次 議員

サテライトオフィス事業について

議員 刑事告発はなぜ今なのか。

市長 補助金の返還を第一に考え、民事訴訟の提起を優先して取り組んできた。刑事告訴や告発については、弁護士と証拠書類や関係者確認等、事実確認を慎重に行ってきたことから、8月12日付で刑事告発状を出した。

議員 市長の公印があつてこそその概算払い9千万円だと思ふが。副市長はどう思われるか。

副市長 出来高をみて概

算払いをしたことはあったが、工事を全然していないのに補助金額全部を支出したのは今回が初めて。

議員 あり得ないような支出の仕方だったという副市長の答弁。あつてはならない。もつてのほかである。

合併して20年、合併特例債はいくらだったのか。現在幾らあるのか。

財政課長 合併特例債の発行可能額は338億円ハード事業で発行可能。発行可能年限は令和7年度までで、今年度中に全額を発行する予定。

農業振興について

議員 農業基盤整備事業は日本の農業基盤であると思うが、雲仙市愛野地区の石積みは大変良くできている。なぜ本市は土羽なのか。

農林水産部長 まず前提として土羽構造でのり面整備が基準となっている。地元の話し合いで決定されたもの。

議員 石積みの購入費の補助は。

農林水産部長 石積み整備



堂崎港埋立地(令和8年取得予定)



質問の様子を動画で見よう

助金を減らすということがあるのか。

答弁 補助金がなくなることはない。補助金の額については、令和8年度から変更する予定がある。

〈建設部関係〉

質疑 道路維持管理事業の市道環境整備事業補助金で23件実施しているが、6年度に申請された分は全て終わったのか。

それと河川維持管理事業の浚渫工事で、大きい河川はしていると思うが、細い河川等の泥、堆積土の除去の要望はあつていないのか。

答弁 生活環境整備事業補助金23件は、令和6年申請して完了している。河川は緊急浚渫事業で実施をしているが、今年度、河川の現地確認を再度行っており、その中で実施していくことになる。

〈福祉保健部関係〉

質疑 妊産婦医療費助成制度の事業は、令和5年度から南島原で始まった

のための石材購入費及び運搬費に対して95%を補助している。

議員 耕作放棄地はどれだけあるのか。

農林委員会事務局 面積1,103ha。そのうち耕作が不可能な面積(再生利用が困難な土地)が673haある。

議員 耕作放棄地の増加を、一番危惧している。

松本市政について

議員 来年の市長選に出馬されるのか。

市長 本市が抱える課題の解決へ向けて取り組んでいくことが私に課せられた責務。

議員 9千万円を解決して出馬してください。

その他の質問

○商業振興について

革新的制度。申請者79名で350万円ほど助成しており、1人当たり4万4千円ぐらいになる。比較的高額な医療費を負担している妊産婦を援助したいということで出来た制度だが、実際この方々がどれぐらいの補助額を受けているか、最高額の方はどれぐらいなのか。

生殖補助関連助成金の申請が20件、いのちの始まり応援事業の申請が16件となっているが、補助を受けた方が出産や妊娠につながったデータを市は持っているか。

答弁 妊産婦医療費助成金の79名の内訳だが、1千円から1万円までが11名、1万から3万未満が26名、3万から5万未満が17名、5万から10万未満が17名、10万から20万が6名、20万を超える方が2名で、一番高い方が28万円となっている。

生殖補助医療については、20名の申請で実際に妊娠された方が3名、妊娠率は15%。一般不妊治

療については16名が申請され、妊娠された方が3名で18％である。

〔監査事務局関係〕

〔質疑〕今回、代表監査委員が不在の時があったが、決算審査はどのようにされたのか。

〔答弁〕6月30日付けで代表監査委員が辞職され、議会選出の監査委員1名による決算審査の執行ということ、全課長、必要に応じて班長に監査委員が質疑を行い審査を行った。

〔農林水産部関係〕

〔質疑〕農業用ドローンの散布普及支援事業補助金で、スマート農業は増えてくと思うが、ドローンを活用された農家の評価と実績は。

〔答弁〕ドローンの農業散布は、最初は水稻関係が多かったが、令和6年度に水稻への補助を廃止後は、バレイショ等で実施している。ドローンの使用で楽になったというこ

とで、水稻に関しては補助金をもらわなくても、ドローンによる農業散布が増えている。実績は、令和3年度9件、令和4年度7件、令和5年度25件となっている。面積は、令和3年度約38ha、令和4年度30ha、令和5年度117haと増えている。これは水稻が一気に増えたためである。

討 論

〔反対討論〕

この決算書は、令和6年度の3月議会に上程された一般会計予算に対する決算書であり、それに関して、世界遺産センター関係での修正予算を出した立場としては、今回の決算書を認定するわけにはいかない。

〔反対討論〕

先ほどの同僚議員の発言と同じで、この世界遺産センター建設に対しては、14万人の誘客を見込んだということであるが到底見込みが甘いというこ

黒石英雄 委員長

農林水産・建設委員長報告(概要)

・議案5件を原案可決 認定2件を認定

〔議案第43号〕南島原市水道事業給水条例の一部を改正する条例について

〔環境水道部関係分〕
〔質疑〕今回の条例改正は、災害が発生した場合のみということで理解しているのか。

〔答弁〕そのとおり。
〔討論はなく、採決の結果、原案可決〕

〔議案第44号〕南島原市公共下水道条例の一部を改正する条例について

〔環境水道部関係分〕
〔質疑〕この中で災害その他非常の場合とは、どの程度で、どのような時か。

〔答弁〕明確な規定はないが、本市指定の工事店では対応が困難な時だと考

〔討論はなく、採決の結果、原案可決〕

〔議案第47号〕令和7年度南島原市一般会計補正予算(第4号)

〔建設部関係分〕

〔質疑〕会計検査院から指摘を受けた有馬川の件だが、緊急自動車を通すための荷重に耐えきれないとの指摘ではないかと思う。そこで、緊急自動車を通さなければ、問題ないのではないか。

〔答弁〕会計検査院からの指摘は、緊急自動車というよりも道路としての安全が担保されているのかという点で指摘があり、設計の見直しが生じた。

〔質疑〕再度、見直した結果、何もなかったらどうなるのか。

〔答弁〕事前調査をした結果、強度の確認ができなかったため再度、調査を実施する。

〔討論はなく、採決の結果、原案可決〕

〔議案第50号〕令和7年度南島原市水道事業会計補正予算(第1号)

〔環境水道部関係分〕

〔質疑〕見積入札をしてから補正を組んだのか、それとも県から言ってきたのか。

〔答弁〕県から移設の依頼があり、対象範囲を立ち会った上で、積算し金額を設定した。
〔討論はなく、採決の結果、原案可決〕

〔その他の案件〕

〔議案第42号〕南島原市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について

〔認定第4号〕令和6年度南島原市水道事業会計決算の認定について

〔認定第5号〕令和6年度南島原市下水道事業会計決算の認定について

末統浩二 委員長

総務委員長報告(概要)

・議案5件を原案可決 請願1件を採択 請願2件を不採択

〔議案第39号〕南島原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

〔質疑〕会計年度任用職員も該当するのか。

〔答弁〕会計年度職員も条件があるが該当する。

〔討論はなく、採決の結果、原案可決〕

〔議案第40号〕南島原市職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

〔概要〕妊娠、出産等を申し出た職員に対し制度の説明と意思の確認を行う。

〔質疑〕討論はなく、採決の結果、原案可決〕

〔議案第45号〕土地の取得について

〔質疑〕前回購入単価との差は。区域の単価差の理由は。

〔答弁〕県の鑑定評価の結

果、前回より上昇。区域の国道等からの距離による単価差がある。

〔質疑〕企業誘致のため財団への職員派遣は。区域

〔答弁〕県産業振興財団への職員派遣は検討中。一部を市で整備する。

〔質疑〕地下埋設物・地盤調査等は。所有後の管理計画は。

〔答弁〕地下埋設物・地盤調査とも一般的に建築側で実施すべき。管理は管

財契約課で実施。
〔討論はなく、採決の結果、原案可決〕

〔議案第46号〕財産の取得について(職員用パソコン購入)

〔質疑〕共同購入は考えなかったのか。今後の購入計画は。

〔答弁〕共同購入との検討の結果、安価な単独調達を実施。ソフトの関係か

ことが1点。2つ目はサテライトオフィス補助金について、返還がいまだにされていない。市長が早めに被害届を出していれば、いい方向に行くような思いですと質問していたが、いまだに被害届も出さない。刑事告発であって刑事告訴を出せる立場でもあるのに、それもしていない。さらに倫理条例、倫理規程に対する処分がなされてない。3つ目に、自治会の委託料に対して、支給に問題があることを指摘しており、これも理由。4つ目、旧給食センターの備品の売払いで、電気製品なんかもある。大きい給食センターを建ててもう5年になる。早めに利用できるような備品の処分の仕方

を指摘している。以上4点を挙げて反対討論とする。

〔賛成討論なし〕

〔議案第47号〕令和7年度南島原市一般会計補正予算(第4号)

〔会計課分〕

〔質疑〕手数料が高くなっており安価になる努力は。

〔答弁〕便利と手数料のバランスを考えより安価な方法を模索する。

〔総務部関係〕
〔質疑〕新しい地方経済・生活環境創生交付金とは。

〔答弁〕地域再生計画に基づく事業に国の支援がある。

〔質疑〕物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は今回計上分で終わるか。

〔答弁〕物価高騰対策分は今回全額計上した。

〔質疑〕財源組替えは過疎債の確定か。

〔答弁〕過疎債から合併特

例債への組替えは県の過疎債減額指示。

〔質疑〕元金償還のメリットは。

〔答弁〕繰上償還により、利息の軽減と後年度の元金減少。

〔質疑〕合併特例債は終わるか。自転車歩行者専用道路の財源は。

〔答弁〕合併特例債は今年度中に使い切る計画。自転車歩行者専用道路は国の補助と過疎債を充当。

〔地域振興部関係〕
〔質疑〕観光費の修繕料の総額は。出捐金の計上で真砂の清算は終了か。

〔答弁〕修繕料は総計374万円。清算完了のため職員の退職金、販売済み入浴券の清算等により出捐金を計上。会社清算時に退職金が発生。

〔討論はなく、採決の結果、原案可決〕

〔請願第2号〕南島原市議会は南島原市長松本政博を生発する件

審査のため請願者に出席要請し趣旨の説明、紹

介議員の賛同理由の説明後、質疑を実施。

〔趣旨〕市民の大切なお金を、仕事をしていないものに全額、委任払いしている。許すわけにはいかない。市長に弁償をする旨議会で告発するべき。

〔賛同理由〕請願には紹介議員が必要であり、も

〔質疑〕討論はなく起立採決の結果、請願は不採択〕

〔請願第3号〕地方自治法第178条(長の不信任議決と長の処置)により南島原市議会は松本市長の不信任議決の発議を発出のこと

審査の進め方は請願第2号と同様。

〔趣旨〕市政は市民のためになつていない。市が倒産するのではと心配せざるを得ない。大型事業が多く無駄遣いが多い。

市長の市政監視ができていない。議会は市長に対し不信任決議を出してほしい。

〔賛同理由〕議会として

動かねばと思った。市民の声に応える必要がある。

〔質疑はなく、討論を行った。〕

〔発言〕

反対討論がないため賛成討論は控える。

〔起立採決の結果、請願は不採択〕

〔請願第5号〕地方財政の充実・強化に関する意見書採択のお願い

住民サービス・福祉の向上のため職員が働く資金が足りなくなるため国に資金の要求をするもの。

〔意見の後、討論を行った。〕

〔反対討論〕

金が足りないから仕事に支障があるような文書である。建設事業費が増大する南島原市の状況を見ると反対。

文教厚生委員長報告(概要)

・議案5件を原案可決 認定2件を認定
請願1件を採択

【議案第38号】南島原市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

【質疑】本市で大体何施設ぐらい対応できるようなところがあるのか。

【答弁】7月時点の調査で、31園のうち、実施希望が9園、検討中が9園との回答を得ている。

【質疑】親が負担するお金は。

【答弁】利用料は各施設で設定をするので、現時点ではまだ決まっていない。(討論はなく、採決の結果、原案可決)

【議案第41号】南島原市議会議員及び南島原市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について

【質疑】ポスターの実質1枚当たりの単価はいくらで、枚数は何枚なのか。

【答弁】今回、改正後は実質1枚当たり2,185円が上限。枚数は直近の選挙と同じ揭示数で変更なければ198か所分の計算になる。(討論はなく、採決の結果、原案可決)

【議案第47号】令和7年度南島原市一般会計補正予算(第4号)

【市民生活部関係分】
【質疑】外国人在留者の人数は何名か。

【答弁】令和6年中に転入された外国人は、約200人。転出された方が133人。現在500人前後が市内にいます。

【質疑】南島原市に来て失踪された事例はあるのか。

【答弁】把握していない。

【教育委員会関係分】
【質疑】寄附金15万円の使い方は決まっているのか。

【答弁】寄附金は、深江・

小林・大野木場小学校の図書購入費に各5万円使用してほしいと寄付された。

【質疑】小中学校の屋根の改修は何年ペースで改修するのか。

【答弁】屋根の防水関係は、10年から15年が耐用年数でその期間をスパンに計画している。毎年5月に各学校の修繕箇所を担当と回り、年数以下であっても亀裂・雨漏り等あれば優先順位を変更して実施している。

【質疑】世界遺産センター整備事業の2,298万8千円の財源内訳は。

【答弁】年度の当初予算で計上した財源と合わせて調整をした結果、国庫が1,648万2千円増加、起債についても1,650万円の増額、調整により一般財源がトータルとしては999万4千円減額となっている。

【反対討論】
今回の補正予算にも世界遺産センター事業が計

上されている。基本設計の段階から毎回補正・修正を提出しているもので、反対討論とする。

【賛成討論】

この世界遺産センターに対して、補助金・交付金等を含めた上で、市民への還元という形として、これは今するべき工事だと思ふ。これを建設することによって、地域の活性化にはなると思ふ。皆で話し合いを議論しながら進めてほしいので、賛成討論とする。

(起立採決の結果(賛成4・反対1) 原案可決)

【認定第2号】令和6年度南島原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【質疑】令和6年度上位疾患第5位に脳梗塞が入っているが、近隣市と県全体ではどうか。年間医療費が、本市は長崎県の平均より低い傾向の要因はなぜか。

【答弁】長崎県全体では、

上位疾患に入っていない。近隣市でも10位までに該当していない。

1人当たりの年間医療費が低いという分析は特にやってないが、県内の医療費をクロス表で示すと、大きい市町村が高い傾向が出ており、県全体の医療費を引き上げているのが現状。

【質疑】財政調整基金の目標設定額は立てているのか。

【答弁】基金については、県から基金保有の指示はあるものの、目標設定額の指示はなく、特に立てていないが、今回の決算剰余金とか、前年度の決算剰余金の2分の1以上積み立てるということで決まっているので、その分を毎年積立てている。

【認定第3号】令和6年度南島原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

【質疑】コロナ明けに全国的には受診控えがあつて、結構赤字に転落している

病院が多いが、南島原市においては、比較的受診控えみたいなものが起こらず回復傾向にあるというような説明で間違いないか。

【答弁】徐々に解消している。ただ増加の要因としては、被保険者数が年々増加しているので、それも絡んでいる。

【議案第48号】令和7年度南島原市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

【議案第49号】令和7年度南島原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

【請願第4号】ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2026年度政府予算に係る意見書採択の請願について

議員定数等調査検討
特別委員長報告

本委員会は、近年の経済状況や市の財政状況、近隣市議会の動向を踏まえつつ、市民の負託にこたえる議員定数及び報酬の改定に必要な項目の調査研究をする必要があるとの判断から、本年3月に設置し、協議・検討を行ってきた。

議員定数については、

県内各市や人口3万5千人から4万5千人規模の類似都市等の状況について資料収集を行うなど、現状の把握に努めるとともに、委員会の参考資料とするため、議員へのアンケート調査を実施し、慎重に協議を重ねてきた。その結果、本市が直面している人口減少や、既に県内外の市で定数削減の動きが進行している現状を鑑み、議員定数の削減は回避できないと判断し、次の改選から、現行

の19人から2人減の17人とした。

議員報酬については、他自治体の状況を勘案すると、市長の諮問機関である特別職報酬等審議会において審議され、議会に提案されるのが一般的であることから、本委員会においても市長に提言することを確認した。

議員報酬額に関する意見としては、「市の財政状況や補助金9千万円の返還がなされていないことなどを考慮すると現状維持」の意見もあったが、「20年間据え置きであることや物価高騰、議員のなり手不足を理由に増額を支持する」「物価上昇や同規模自治体との比較を根拠に妥当とする」「多様な層の立候補を促すため、増額は必要」「議員活動の質向上と生活保障のため」など増額の意見があった。

具体的な増額幅は2万円から10万円と幅広い意見があり、最終的な額としては、他市の状況を基に、現予算を超えないことを念頭に、議員報酬月額4万円の増額を、市長に対して特別職報酬等審議会への諮問を提案することとした。

また、平成18年度の合併から議員定数を30人から19人へと削減してきた一方、議員報酬の改定は見送られてきたことを考慮いただき、今回の報酬の増額についてご理解いただきたい。なお、議員定数2名削減による報酬を除く経費については、4年間で約1千万円の削減となる。

結びに、今回の議員定数削減並びに報酬の増額により、これまで以上に議員一人ひとりが、議員の責務に対する認識を高めるとともに、資質の向上に努めることで、市議会として市の発展に寄与していきたい。

Report 01 議会運営委員会視察研修報告
委員長 中村 哲康

—《議員定数及び報酬の改正について》—

- 7月24日(木) 【えびの市議会】
●定数：14人→10人 ●報酬：30万4千円→40万円
- 7月25日(金) 【小林市議会】
●定数：19人→16人
●報酬：31万3千円→37万5千円～42万5千円の範囲内(現在、市長に特別職報酬等審議会開催を依頼)



【委員長所感】

人口減少に伴い議員定数の削減も必要ではあるが、削減されれば民意が反映されにくくなる問題も考えられる。議員削減によるデメリットにも配慮して議員定数の課題に対応していく必要があると感じた。

また、議員定数や報酬については、市民の理解を得ることが大事であり、これまで取り組んだ定数減(報酬は現状維持)も考慮した上で考えるべきであると思った。

議員をとりまく諸課題の解決に向け、市民の理解が得られるよう、議会が一丸となって取り組んでいく必要があると感じた。

Report 02 広報編集特別委員会視察研修報告
委員長 井上 修一

—《議会だよりの編集方法・発行状況について》—

- 10月7日(火) 【うきは市議会】
議会広報紙の改革を数年かけて実施。印刷業者選定要件にデザイン要素を追加。現在読まれている方は引き続き読まれるだろうということで、20代～40代をターゲットとし、「伝える議会だよりの」から「伝わる議会だよりの」を目指して取り組まれていた。
- 10月8日(水) 【大分市議会】
紙面の見直しのため専門家を招き意見交換を実施。現状と課題を洗い出し、「市民と議会を“つなぐ”、結ぶ。市議会だよりの」から、「市民と議会の“つながり”、を意識した紙面づくり」へと方向性を見直した。



【委員長所感】

双方(うきは市・大分市議会)共に、読み手を第一に、記事は簡潔に、表紙見出しは、解りやすくインパクトのある表現で細かい所まで創意工夫され、参考とさせていただく内容(事項)の多い有意義な研修となった。

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
同意第3号	監査委員の選任について	令和7年9月2日	同意
報告第8号	放棄した債権の報告について	令和7年9月9日	受理
報告第9号	放棄した債権の報告について	令和7年9月9日	受理
報告第10号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）	令和7年9月9日	受理
報告第11号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）	令和7年9月9日	受理
報告第12号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）	令和7年9月9日	受理
報告第13号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）	令和7年9月9日	受理
報告第14号	専決処分の報告について（南島原市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について）	令和7年9月9日	受理
報告第15号	専決処分の報告について（南島原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について）	令和7年9月9日	受理
報告第16号	令和6年度南島原市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	令和7年9月9日	受理
報告第17号	株式会社ミナサボの経営状況に関する書類の提出について	令和7年9月9日	受理
報告第18号	株式会社原城振興公社の経営状況に関する書類の提出について	令和7年9月9日	受理
議案第38号	南島原市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	令和7年9月30日	原案可決
議案第39号	南島原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	令和7年9月30日	原案可決
議案第40号	南島原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	令和7年9月30日	原案可決
議案第41号	南島原市議会議員及び南島原市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	令和7年9月30日	原案可決
議案第42号	南島原市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	令和7年9月30日	原案可決
議案第43号	南島原市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	令和7年9月30日	原案可決
議案第44号	南島原市公共下水道条例の一部を改正する条例について	令和7年9月30日	原案可決
議案第45号	土地の取得について	令和7年9月30日	原案可決
議案第46号	財産の取得について（職員用パソコン購入）	令和7年9月30日	原案可決
議案第47号	令和7年度南島原市一般会計補正予算（第4号）	令和7年9月30日	原案可決
議案第48号	令和7年度南島原市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	令和7年9月30日	原案可決
議案第49号	令和7年度南島原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	令和7年9月30日	原案可決
議案第50号	令和7年度南島原市水道事業会計補正予算（第1号）	令和7年9月30日	原案可決
認定第1号	令和6年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について	令和7年9月30日	認定
認定第2号	令和6年度南島原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	令和7年9月30日	認定
認定第3号	令和6年度南島原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	令和7年9月30日	認定
認定第4号	令和6年度南島原市水道事業会計決算の認定について	令和7年9月30日	認定
認定第5号	令和6年度南島原市下水道事業会計決算の認定について	令和7年9月30日	認定
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	令和7年9月30日	答申（適任）
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	令和7年9月30日	答申（適任）
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦について	令和7年9月30日	答申（適任）
諮問第6号	人権擁護委員候補者の推薦について	令和7年9月30日	答申（適任）
諮問第7号	人権擁護委員候補者の推薦について	令和7年9月30日	答申（適任）
議案第51号	令和7年度南島原市一般会計補正予算（第5号）	令和7年9月30日	原案可決
報告第19号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）	令和7年9月30日	受理
報告第20号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）	令和7年9月30日	受理
請願第2号	南島原市議会は南島原市長松本政博を告発する件	令和7年9月30日	不採択
請願第3号	地方自治法第178条（長の不信任議決と長の処置）により南島原市議会は、松本市長の不信任議決の発議を発出のこと	令和7年9月30日	不採択
請願第4号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2026年度政府予算に係る意見書採択の請願について	令和7年9月30日	採択
請願第5号	地方財政の充実・強化に関する意見書採択のお願い	令和7年9月30日	採択
発議第4号	南島原市議会議員定数条例の一部を改正する条例について	令和7年9月30日	原案可決
発議第5号	「少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書」の提出について	令和7年9月30日	原案可決
発議第6号	「地方財政の充実・強化に関する意見書」の提出について	令和7年9月30日	原案可決
	閉会中における各委員会の継続調査申出について	令和7年9月30日	決定

令和7年第3回定例会で意見が分かれた議案の採決

○：賛成 ×：反対 -：不在

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	18
議案番号		寺澤佳洋	松本添花	日向栄司	井上修一	田中克彦	末続浩一郎	永池充宏	酒井光則	中村哲康	高木和恵	隈部和久	林田久富	松永忠次	小嶋光明	黒岩英雄	吉岡巖	田中次廣
議案第47号	修正案	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×
	原案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
認定第1号		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
請願第2号		不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
請願第3号		不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
請願第5号		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	×

賛否討論

採決が分かれた議案のうち、主な意見を紹介します。

【議案第47号】令和7年度南島原市一般会計補正予算（第4号）に対する修正動議について

【修正動議】世界遺産センター整備事業2、29万8千円を削除いたすべく、所要の修正をするもの。基本設計予算として上程されて以来、関連予算に関し、その都度修正案を提出してきた。大多数の議員が、経済面、文化面に関し、将来にわたり寄与するものであるとの判断であること、さらに、工事の進捗状況に鑑みて、本修正案が現実的ではないことも重々承知している。しかし我々の従来からの考え、思い、懸念が変節するわけもなく、また議会議員としての矜持の面からも賛成できない。

（原案に賛成）ここに来

て予算が確保できなければ、事業の継続が困難となるので、予算削減は現実的ではない。世界遺産センターは、今後も本市の観光振興を担う重要な観光施設になっていくものと考えており、観光や物産などを含めた地域活性化につながる準備を市や関係団体、事業者などが連携を図り一丸となって進めていくことが重要で、それを導いていくことが議会としての役割。

【修正案に賛成】指定管理制度から変更し、直営で運営することが要因の一つ。直営になればますます人件費がかさむ。そして、世界遺産センターの誘客14万人は来ないということを総合的に考えて修正案に賛成。

【原案に賛成】過去、同趣旨による修正動議が提出されてきたが、いずれも本会議において、事業を進める方向で意思決定がなされてきた経緯がある。既に何億もの公金を投じており、ここで中止

することは、補助金の返還義務を含め多大な財政的損失を市民の皆様と与えることは明らか。議会制民主主義においては、最終的に多数決によって決定された結論を尊重し、その後は議会全体として責任を持って事業を遂行していくことが求められる。

【請願第2号】南島原市議会は南島原市長松本政博を生免する件

【賛成討論】総務委員会では賛成討論も反対討論もなかった。納得いかなない。請願に対してはまともなことであるので賛成。【反対討論】本件について市民の皆様が強い憤りを持っておられることは十分理解している。しかしながら市長は、本件に直接関与した事実を確認されておらず、監督責任は免れないにしても、刑事告発に値するの可否かは慎重に判断すべき事項である。議会から告発は可能だが、これは刑事責任が強く疑われる場合に限って慎重に行われるべ

きものである。よって、告発に踏み切るのには行き過ぎであり、本来の我々議員の仕事である政策監視、再発防止策の提言という役割を超える行為であると考える。

【請願第3号】地方自治法第178条（長の不信任議決と長の処置）により南島原市議会は、松本市長の不信任議決の発議を発出のこと

【賛成討論】南島原市は被害者だが、本当の意味の被害者は市民であり、市長ではない。疑いがあるものならば被害届を出せと思うが、弁護士の方で告訴ではなく告発をした。そのことから不信任案を出してもいいと思う。

【反対討論】サテライトの補助金9千万円の不当支出問題については、この請願では私物化、背任と断定している。しかし、この件は既に刑事告発され、司法の場で真相解明が進められている段階である。現時点で、議会が背任と決めつければ、市

民に議会が司法を飛び越えて結論を出したとの誤解を与えることになる。市長には説明責任と改善を強く求めるべきであるが、市民を誤解に導く請願を根拠に不信任を議決することは、市政の混乱を招き、ひいては議会そのものの信頼を損なう危険性があるので反対。

【発議第4号】南島原市議会議員定数条例の一部を改正する条例について

【提案理由】議員定数等調査検討特別委員会の委員長報告に基づき、次回一般選挙からの市議会議員の定数を19人から17人とするため、所要の改正を行うもの。

【反対討論】南島原市は広大な地域を有する自治体であり、それぞれの地域が個性豊かで多様性に富んでいる。市民一人一人の声を行政にしっかりと届けるため、各地域を代表する議員の数を適切に確保することは大変重要なことだと考えている。

議員定数の削減は、市民の声を聞く大切な機会を失うだけでなく、地域間のバランスや、公平性を損なう恐れがある。さらに、本市の議員の活動は、市民の声を行政に届けるだけでなく、地域と密接に連携し、その声を代弁する重要な役割を果たしている。

このような背景を考えると、削減を進めるのではなく、まず議員活動の質を向上させる取組や市民との連携を強化する仕組みを整えることが重要なことである。議員定数削減の決定は、慎重な議論を重ね、市民全体が納得できる対策を講じるべきで、現在の議員定数は適正と考え反対。

【賛成討論】本市も4万人の人口を切っている。その中で、同規模の他自治体を見ると17名が妥当。地域の広さとかいろいろあるが、我々のスキルもアップしていくべきだと思っている。今から私たちも、気を引き締めて17名の気持ちで頑張っていこうと思っている。

人事案件



人権擁護委員

(令和8年1月1日から
令和10年12月31日)



芥 利光 氏 (布津町)



瀬川 百合 氏 (深江町)



福田 仁美 氏 (加津佐町)



本多 勝子 氏 (西有家町)



山田 恵子 氏 (布津町)

次回の定例会は 令和7年12月2日(火) 開会の予定です

議会広報

編集特別委員会

委員長 井上 修一 副委員長 末続浩二郎
委員 寺澤 佳洋 委員 田中 克彦
委員 永池 充宏 委員 酒井 光則
委員 田中 次廣

(発行責任者)

議長 吉田幸一郎



▼お問い合わせ

☆議会だよりに、御意見、御感想がありましたら、
議会事務局「議会だより」係までお願いします。

〒859-2202 南島原市有家町山川58番地1

☎ 0957-73-6611

メールアドレス：gikai@city.minamishimabara.lg.jp

編集後記

先月9月10日の未明からの豪雨により市内各地で床上・床下浸水、土砂崩れ、道路の崩落や農業被害など、甚大な被害が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私自身も床上浸水のあった集落で、畳の撤去や廃棄物処理のお手伝いをさせていただきました。

地域の皆様が力を合わせて復旧に向かう姿に、改めて地域の結束の強さを感じました。

一方で、今回の対応を振り返ると、消防団や行政との連携、被災ごみの処分方法や流出物処理の周知など、改善の余地も見受けられました。大規模災害ではありませんでしたが、だからこそ初動

議会広報編集特別委員会
委員 田中 克彦